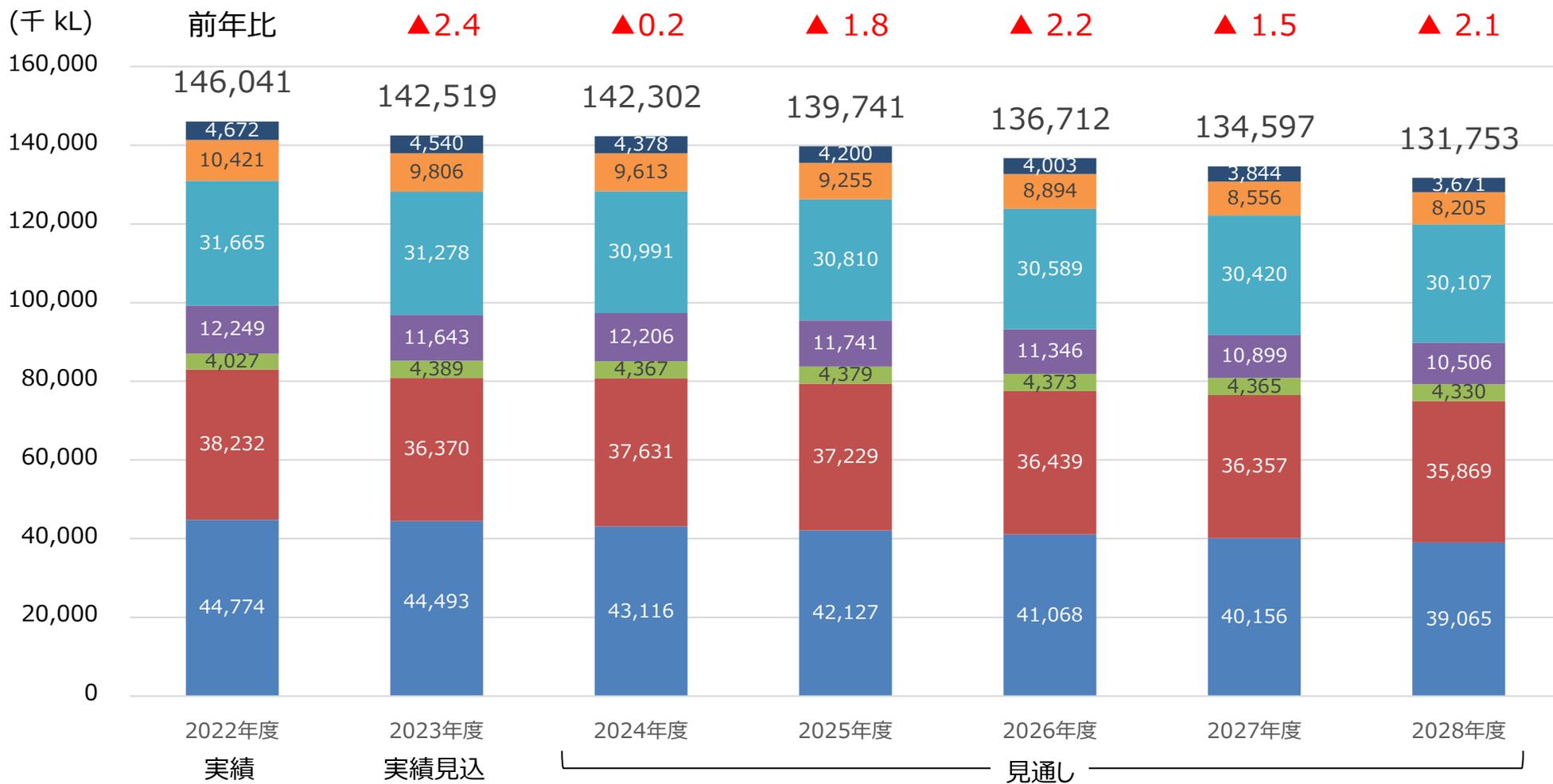


ジェット燃料供給について

令和6年6月
資源エネルギー庁 資源・燃料部

2024～2028年度石油製品需要見通し（燃料油全体）【電力用C重油を除く】

- 2023～2028年度を総じてみれば、年平均で▲1.6%、全体で▲7.6%の減少の見通し。
- 他方、ジェット燃料は今後も堅調に推移する見込み。



※ジェット燃料油は
内需のみの試算

■ ガソリン ■ ナフサ ■ ジェット燃料油 ■ 灯油 ■ 軽油 ■ A重油 ■ 一般用B・C重油

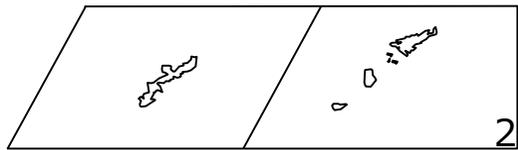
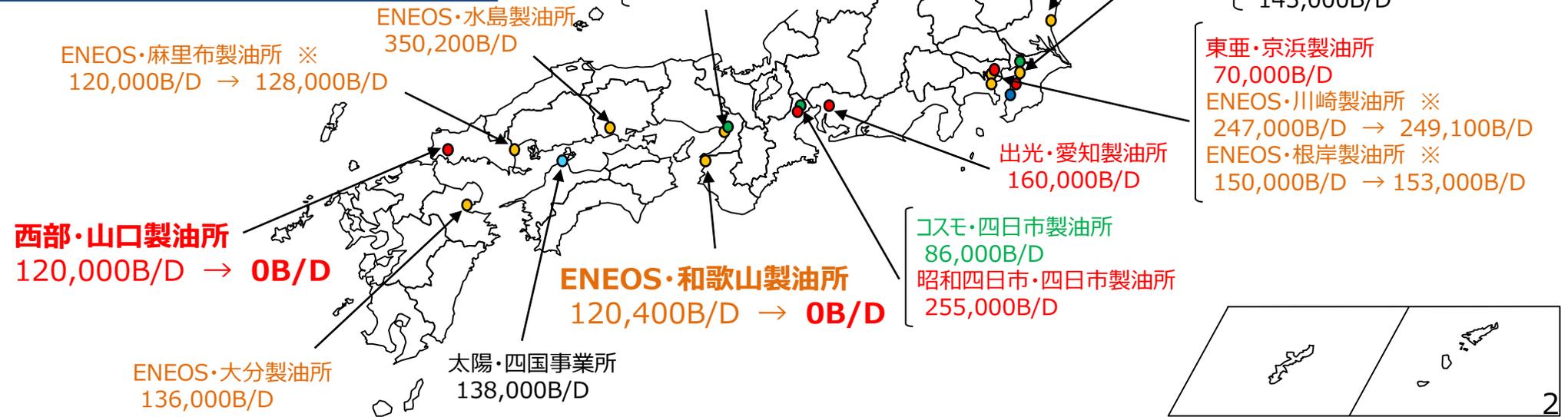
国内の製油所の所在地と原油処理能力

(~令和5年10月31日)
原油処理能力 (21箇所)
合計 3,330,700 B/D
 ENEOS : 1,741,700 B/D
 出光興産 : 945,000 B/D
 コスモ石油 : 363,000 B/D

【ENEOS 和歌山製油所閉鎖】
 (令和5年11月1日~)
原油処理能力 (20箇所)
合計 3,230,400 B/D
 ENEOS : 1,641,400 B/D (▲100,300)
 出光興産 : 945,000 B/D
 コスモ石油 : 363,000 B/D

【西部石油 山口製油所閉鎖】
 (令和6年6月末予定)
原油処理能力 (19箇所)
合計 3,110,400 B/D
 ENEOS : 1,641,400 B/D
 出光興産 : 825,000 B/D (▲120,000)
 コスモ石油 : 363,000 B/D

※ 設備率を維持する範囲での付け替え



(参考) 空港への主な輸送経路

- 空港への主な輸送経路について、主として、各製油所から内航船により油槽所に転送し、油槽所から各空港へローリーで輸送するなど、2段階で輸送するが多い。
- 沿岸部の空港や製油所近接の内陸部の空港は、内航船やローリーで直接輸送している。

